

公表 事業所における自己評価結果(見解)

事業所名	児童発達支援・言語治療サービス しみん東大宮校	公表日	2026年 2月13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用者が発達支援室等のスペースとの関係や適切であるか。		<input type="radio"/>	フローと一体化して、壁の材質や照明や音響設備が快適な空間を演出する工夫を徹底している。	
	2 利用者が子どもの状態等に応じて、業務の配属が適切であるか。		<input type="radio"/>		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、業務上の課題等は、環境の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。		<input type="radio"/>	業務上の課題等に応じて、壁・フロー・天井・照明等を調整し、環境の特性に応じた環境を整備している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>		
	5 必要に応じて、子どもが個別の経験や場所を創出することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	多様な経験や場所を創出するため、利用者の生活や発達ニーズに応じた環境の確保や業務内容の工夫を徹底している。	
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。		<input type="radio"/>	利用者のニーズやニーズに基づいて、業務改善の目標を設定し、職員による業務内容の振り返りを行い、改善策を決定している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	保護者からの評価表やアンケート等により、保護者の意向やニーズを把握し、業務改善につなげている。	
	8 職員の見解等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	職員からの評価やアンケート等により、職員の見解やニーズを把握し、業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価は行っていない。	第三者と検討する。
	10 保護者の意向の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を受講する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	研修や外部研修を受講する機会を確保し、研修内容を業務改善につなげている。	
業務改善	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を適切に対応した上で、支援プログラムを作成しているか。		<input type="radio"/>		
	13 支援プログラムを作成する際には、児童発達支援管理指針だけでなく、子どもの支援に関する職員や関係機関の下で、子どもの療育の利益を考慮した検討が行われているか。		<input type="radio"/>	児童発達支援管理指針だけでなく、子どもの療育の利益を考慮した検討が行われている。	
	14 支援プログラムが個別に作成され、計画に沿った支援が行われているか。		<input type="radio"/>		
	15 子どもが適切な行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォームなどアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		
	16 支援プログラムを作成する際には、児童発達支援管理指針の「支援プログラムの作成の手続き」の「本人支援」「保護支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各項目が支援内容に盛り込まれ、子どもの支援に必要な項目が適切に盛り込まれ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		<input type="radio"/>	児童発達支援管理指針の「支援プログラムの作成の手続き」の各項目が支援内容に盛り込まれ、子どもの支援に必要な項目が適切に盛り込まれ、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	
	17 支援プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>	チームで立案し、チームで実施している。	
	18 支援プログラムが更新されないよう工夫しているか。		<input type="radio"/>	支援プログラムの更新や見直しを行う工夫をしている。	
	19 子どもが成長に応じて、個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせる支援プログラムを作成し、変更が行われているか。		<input type="radio"/>	個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせる支援プログラムを作成し、変更が行われている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	
21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、受けたい点等を共有しているか。		<input type="radio"/>			
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
23 定期的にモニタリングを行い、支援プログラムの見直しが必要を判断し、適切な変更を行っているか。		<input type="radio"/>			
24 支援プログラムガイドラインの「4つの基本原則」を徹底し実施して支援を行っているか。		<input type="radio"/>			
25 子どもが自己決定できるような工夫がなされている等、自己決定を促す工夫を蓄えているか。		<input type="radio"/>	自己決定を促す工夫を蓄えている。		
適切な支援の提供	26 発達支援計画や支援プログラムの作成や実施の進捗を定期的に確認し、必要に応じて変更を行っているか。		<input type="radio"/>	発達支援計画や支援プログラムの作成や実施の進捗を定期的に確認し、必要に応じて変更を行っている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や臨床心理士、精神科医、保健、教育等の関係機関）と連携して支援を行う体制を整えているか。		<input type="radio"/>	地域の保健、医療（主治医や臨床心理士、精神科医、保健、教育等の関係機関）と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28 子どもと保護者（支援計画・支援プログラムの作成、子どもの下地状態の確認）、連絡調整（活動計画、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		<input type="radio"/>	子どもと保護者（支援計画・支援プログラムの作成、子どもの下地状態の確認）、連絡調整（活動計画、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	
	29 支援前に利用していた保護者や利用者、関係者、関係機関等との間で保護計画や支援プログラムを共有し、相互理解を深めているか。		<input type="radio"/>	支援前に利用していた保護者や利用者、関係者、関係機関等との間で保護計画や支援プログラムを共有し、相互理解を深めている。	
	30 支援を進めながら、支援計画や支援プログラムを必要に応じて変更する場合は、子どもの支援内容やニーズを把握し、変更を行っているか。		<input type="radio"/>	支援を進めながら、支援計画や支援プログラムを必要に応じて変更する場合は、子どもの支援内容やニーズを把握し、変更を行っている。	
	31 地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや他機関と連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや他機関と連携して支援を行っている。	
	32 支援計画や支援プログラムの作成や実施の進捗を定期的に確認し、必要に応じて変更を行っているか。		<input type="radio"/>	支援計画や支援プログラムの作成や実施の進捗を定期的に確認し、必要に応じて変更を行っている。	
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>	「自立支援」協議会等へ積極的に参加している。	
	34 個々の子どもの状況を把握し、必要に応じて支援の内容や方法を調整しているか。		<input type="radio"/>	個々の子どもの状況を把握し、必要に応じて支援の内容や方法を調整している。	
	35 支援の対応力や向上を図る観点から、職員に対して研修や支援プログラム（ペアレントトレーニング）や家族等の参加を促しているか。		<input type="radio"/>	研修、研修、研修を行っている。	研修は行っていない。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。		<input type="radio"/>		
	37 支援プログラムを作成する際には、子どもや保護者の意向を尊重し、子どもの療育の利益を優先的に考慮し、必要に応じて変更する機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	38 「支援プログラムガイドライン」を遵守しながら支援内容の提供を行い、保護者から支援プログラムに関する質問を適切に対応しているか。		<input type="radio"/>		
	39 保護者からの子どもに関する悩み等に対する相談に適切に対応し、必要に応じて支援を行っているか。		<input type="radio"/>	保護者からの子どもに関する悩み等に対する相談に適切に対応し、必要に応じて支援を行っている。	
	40 子どもの発達や行動の進捗を把握し、必要に応じて支援の内容や方法を調整しているか。		<input type="radio"/>	子どもの発達や行動の進捗を把握し、必要に応じて支援の内容や方法を調整している。	
	41 子どもや保護者からの説明について、対応の仕方を確認するとともに、子どもや保護者に適した、適切な説明を行う機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	42 定期的に説明会を開催することにより、保護者の理解を促進することにより、活動計画や支援計画、連絡調整等の進捗を子どもや保護者に対して報告しているか。		<input type="radio"/>		
	43 個人情報の取扱いに十分配慮しているか。		<input type="radio"/>		
	44 保護者のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		<input type="radio"/>		
	45 事業所の行事や活動に参加する等、地域に関与した機会を設けているか。		<input type="radio"/>	地域に関与した機会を設けている。	
事業計画の訂正	46 事業計画マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染予防マニュアル等を策定し、職員や関係者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		<input type="radio"/>		
	47 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出などの必要な訓練を行っているか。		<input type="radio"/>	BCPを策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出などの必要な訓練を行っている。	
	48 事前に、保護や手助け、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。		<input type="radio"/>	保護や手助け、てんかん発作等の子どもの状況を把握している。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指導書に基づき対応しているか。		<input type="radio"/>	医師の指導書に基づき対応している。	
	50 安全計画を作成し、安全確保に必要な設備や訓練、その他必要な訓練を継続する等、安全確保が十分な状態で実施されているか。		<input type="radio"/>	安全計画を作成し、安全確保に必要な設備や訓練、その他必要な訓練を継続する等、安全確保が十分な状態で実施されている。	
	51 子どもが安全確保に留意し、関係者との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、関係者へ説明しているか。		<input type="radio"/>		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討しているか。		<input type="radio"/>	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討している。	
	53 適切な対応をするため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		<input type="radio"/>	適切な対応をするため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、定期的に確認し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援プログラムに反映しているか。		<input type="radio"/>	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、定期的に確認し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援プログラムに反映している。	